

右決定ハ從來ノ例又ハ理論ニアラス之時ヲ超越シテ叙述ニ對シ御  
満足ヲ感ク爲ニセルモノナリ

ニ宣戰ニ關スル事務順序、並ニ國論指導要綱ハ可決ス

三、開戰詔書案

更ニ研究シ意見アラバ書記官長取極メテ修文スルコトトス



十一月二十九日(土) 自午後四時 至午後五時 第七十四回連絡會議

戰爭決意ニ關スル御前會議議題、獨伊ニ對スル外交措置、其他開  
戰決意ニ伴フ國內外ニ對スル措置、ニ就テ審議檢討ス

一、御前會議議題

(1)「原案第二項、仍テ對米英蘭ニ開戰ス」ノ「仍テ」ヲ削除ス

(2) 議事ノ次第中文部大臣ノ説明ハ直接關係薄キヲ以テ削除ス

ニ、獨伊ニ對スル措置

外相ヨリ左記提案アリ

「大島 堀切兩大使ニ對シ左ノ如キ趣旨ニテ獨伊ニ申入レ方處

置シ度シ。日米交渉ノ決裂ハ必至ダ、勢ノ趨ク處、日米兩國  
カ武力衝突スル虞大デアルト思フ、其ノ時機ハ以外ニ早ク來  
ルカモ知レナイ依テ次ノ如ク約束シ度シ  
イ帝國ハ獨伊ノ即時對米戰ヲ期待ス、此ノ期待ニ背カザル如  
ク獨伊側モ措置ス

只日獨同ニ又日伊同ニ米英單獨不締和ノ申合セツナス（外相  
ハ「三國ハ單獨不締和」トセズ、日獨、日伊ト區分シテ不  
締和ヲ約束スル方が有利ナリ譬ヘバ伊太利ガ約束ニ違反シ  
締和セル場合ニ於イテモ日獨ノ間ニハ此ノ約束ガ存在シア

ル如キ取極ノ方有利ナリ、又前例ニ徵スルモ此ノ方都合ヨ  
シ、ト説明ス）

右ニ對シ大體同意本夜發電與存ナキモ、「共同ノ敵」ナル文  
句ハ獨伊ヨリセバ「ソ」ヲ含ムコトトナリ、日本モ「ソ」ヲ  
含ムトイフコトトナレバ現下ノ帝國トシテハ有利ナラストス  
ルノ意見ト、「共同」トセバ獨伊力受入レ易ク有利ナリ、ト  
スル意見ト兩論アリシモ「共同」ハ英米ナルコトヲ明カナラ  
シムル如ク附加説明スル如ク決定セリ

三米ニ對スル外交ヲ如何ニスルヤニ就テ

外相「仕方ガナイデハナイカ」

○「戦争ニ勝テル様ニ外交ヲヤラレ度イ」

外相「外交ヲヤル様ナ時間ノ余猶ガアルノカ」

水野「未ダ余猶ハアル」

外相「○日ヲ知ラセロ 之ヲ知ラセナケレバ外交ハ出来ナイ」

水野「ソレデハ言フ○日ダ、未ダ余猶ガアルカラ戦ニ勝ツノニ

都合ノヨイ様ニ外交ヲヤツテクレ」

○「國民ハ最高潮ニ達シテキル、此ノ上更ニ此氣勢ヲ高メル

コトハ米ヲシテ戦争準備ヲ益々ヤラセルコトニナルノデ

此ノ上高メナイ様ニスル必要ガアル」

○「ソレハイカス、ソシテコトヲシタラ國民ハ分裂スル」

○「分裂セス程度ニヤレ、特ニ政府當局ガ氣勢ヲ低メル様ナ

コトヲ言フノハ遅イ」

○「外電ヲ利用シテヤルノガ最も良イ方法ト思フ」

水野、<sup>此</sup>相、<sup>此</sup>同等海軍側ハ「戦ニ勝ツ爲ニ外交ヲ犠牲的ニヤレ」

ト強ク主張セリ

外相「ヨク分リマシタ、出先ニ帝國ハ決心シテキルト言フテヤ

ツテハイカスカ、武官（暗ニ海軍ナルコトヲ仄メカシツ

ツ)ニ帝國ハ決心シテ居ルトイフコトヲ言ツテ居ルデハ  
ナイカ

永野「武官ニハ言フテナイ」

外相「外交官ヲ此ノ儘ニシテモ置ケヌデハナイカ」

○ 「ソレハイカヌ、外交官モ犠牲ニナツテモラハナケレハ固  
ル最後ノ時迄米側ニ反省ヲ促シ又質問シ我カ企圖ヲ秘匿  
スル様ニ外交スルコトヲ希望スル」

外相「形勢ハ危殆ニ瀕シ打開ノ道ハ無イト思フガ、外交上努力  
シテ米國ガ反省スル様ニ又彼ニ質問スル様ニ措置スル様

「排蒙キイ様」 出先ニ言ハウ」

○ 「國民全部ガ此際ハ大石蔵之助ヲヤルノダ」